HDL-AAXWBシリーズ

初回設定マニュアル

ランプが赤く光ったら
この冊子をご覧ください

ランプの点灯やブザーから問題を把握する方法が記載されています。
また、故障した内蔵ドライブを交換する方法が記載されています。
いざというときに手に取れる場所に保管してください。

レシートや納品書は大切に保管してください。
修理時に保証期間を確認するために必要です。

はじめに
各部の名前と機能
設置する
初回設定①—Windows
└ macOS
初回設定② 共通
パソコンからアクセス
データを守る
便利な使い方
ランプとブザー対処
困ったときには
お守りください
アフターサービス

もくじ

はじめに 3
本製品の使用目的 3
取扱説明書の構成 3
添付品を確認する 4
交換用ドライブ、対応HDD、
対応UPS 4

各部の名前と機能 5

設置する 6
ルーターとつなぐ 6
電源コンセントとつなぐ 7
電源を入れる 8

初回設定をする①（Windows） 9
アプリをインストールする 10
設定画面を開く 12

初回設定をする①（macOS） 13
アプリをインストールする 13
設定画面を開く 14

初回設定をする②（共通） 15
管理者パスワードを設定する .. 16
「NarSuS」に登録する 18
ウイルス対策機能を有効化する 21

パソコンからアクセスする 22
アクセス用ユーザーを作る 23
アクセス権限を設定する 24
アクセスする 25

データを守る 28
USB HDDにバックアップする 29
ゴミ箱機能を使う 34

便利な使い方 37
機能を追加する（パッケージ） .. 37
RAIDモードを変更する 38
スマホからアクセスする 39

ランプとブザーへの対処 40
内蔵ドライブの交換方法 44

困ったときには 47

お守りください 49
安全のために 49
使用上のご注意 53

アフターサービス 55
お問い合わせについて 55
修理について 56
ハードウェア保証規定 57

はじめに

本製品に関する情報をご説明します。

本製品の使用目的

本製品は、ネットワークに設置するネットワークHDD（NAS）です。
データファイルを本製品に保存し、ネットワーク上で共有できます。
※本製品は屋外に設置しないでください。

取扱説明書の構成

本製品の取扱説明書には、次のものがあります。

- 初回設定マニュアル(本書)：
  本製品の初回設定方法、故障時の対応を説明しています。

- 詳細ガイド(Web)：
  本製品を設置した後、より詳細な説明を求める場合は、インターネット上の詳細ガイドをご覧ください。
  説明例：用途から探す（設定例)、設定画面から探す、設定画面の詳細、困ったときには(FAQ)　など

これらの取扱説明書は、下記Webサイトからご覧になれます

https://www.iodata.jp/p/243289

※URLはHDL2-AAX2WBのものですが、リンクされている取扱説明書はシリーズ共通です。

添付品を確認する

□ ACアダプター

□ 電源コード

※ ACアダプターと電源コードをつないで使います。

□ LANケーブル

■ 初回設定マニュアル(本書)

交換用ドライブ、対応HDD、対応UPS

● 交換用ドライブ
以下の弊社Webページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm

※ 交換用ドライブには、システムはインストールされていません。
※ 拡張ボリューム(出荷時設定) で使っている場合、容量を後から増やすことができます。詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。
(拡張ボリューム以外でお使いの場合、本製品の容量を後から増やせません)
※ 一度使ったことがある交換用ドライブを交換に使わないでください。
古いデータの上書きによって、データ損失のおそれがあります。

● 対応USB HDD
以下の弊社Webページをご確認ください。

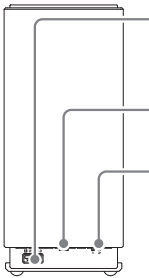
https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm

● 対応UPS
以下の弊社Webページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm

各部の名前と機能

▼ 前面

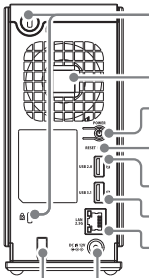


USBポート1(USB 2.0)：USBメモリーやデジタルカメラをつなぐと、自動的にデータをコピーします。(クイックコピー)

POWERランプ：本製品の電源の状態を示します。(40ページ)

HDDランプ：内蔵ドライブの状態を示します。(40ページ)

▼ 背面



ケンジントンセキュリティスロット：盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。(上はHDDも守れます)

ファン：冷却用です。ふさがないでください。

POWERボタン：電源を入／切します。(8ページ)

RESETボタン：4秒押すと、一部設定を購入時に戻します。(IPアドレス、管理者パスワード、フレームサイズ)

USBポート2(USB 2.0)：外付HDDなどをつなぎます。

USBポート3(USB 3.1※)：外付HDDなどをつなぎます。

LANポート：LANケーブルでルーターと接続します。

電源コネクター：添付のACアダプターをつなぎます。

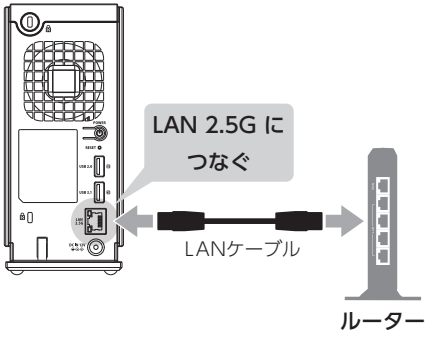
ケーブルフック：ACアダプターの抜け防止用です。

※ USB 3.1 Gen 1(USB 3.0)

設置する

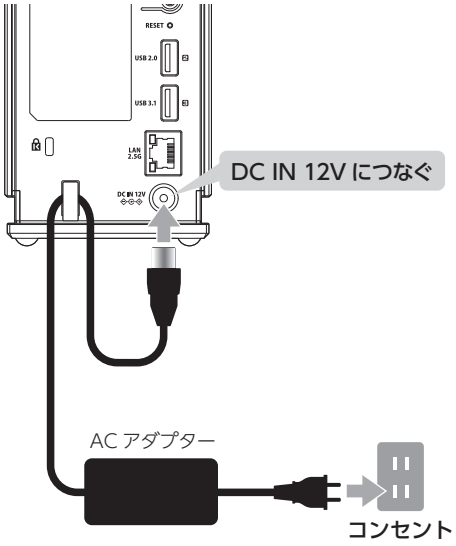
ルーターとつなぐ

「ルーターのLANポート」と「本製品の“LAN 2.5G”」を添付のLANケーブルでつなぎます。



電源コンセントとつなぐ

添付のACアダプターをケーブルフックに掛けた後、「DC IN 12V」につなぎます。
それから、ACアダプターを電源コンセントにつなぎます。



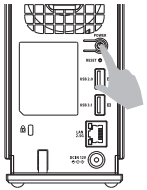
UPSとつなぐことをおすすめします

ACアダプターを、UPSの電源コンセントにつなぎます。
また、本製品のUSBポートにUPSのUSBケーブルをつなぎます。
※ UPSをつなぐUSBポートは背面のUSB 2.0ポート(USB2) をおすすめします。
※ 本製品につなげられるUPSは1台までです。

電源を入れる

1 背面のPOWERボタンを押す

⇒ ピッと鳴ります。



2 POWER ランプが点滅する　　点灯に変わり、ピーッと鳴る



POWERランプが赤点灯し、「ピーピーピー」と鳴った場合

【初回起動時、POWERランプが赤点灯し、ピーピーピーと鳴った】(47ページ) をご覧ください。

POWERランプが点滅中にコンセントを抜かないでください

ファームウェアの更新がある場合、通常より起動時に時間がかかります。
緑点滅の場合は、そのままお待ちください(約10分)。

電源を切る方法

背面のPOWERボタンを2秒間押し続けます。
⇒ POWERランプが点滅し、消灯したら停止完了です。
※ POWERランプが消える前に、ACアダプターを抜かないでください。
故障の原因になります。

初回設定をする①(Windows)

設定画面を開くためのアプリ「LAN DISK コネクト」をインストールし、設定画面を開きます。

アプリをインストールする……10
設定画面を開くためのアプリ「LAN DISK コネクト」をインストールします。

設定画面を開く……12
LAN DISK コネクトを使って本製品の設定画面を開きます。

アプリをインストールする

設定画面を開くためのアプリ「LAN DISK コネクト」をインストールします。

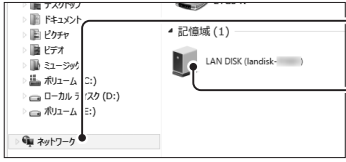
LAN DISK コネクトでできること

- LAN DISK の共有フォルダーを開ける
- LAN DISK の設定画面を開ける

※ 詳しくは、LAN DISK コネクトの画面で見るマニュアルをご覧ください。

1 画面左下付近にある (エクスプローラー) をクリックする

2



① [ネットワーク] をクリックする

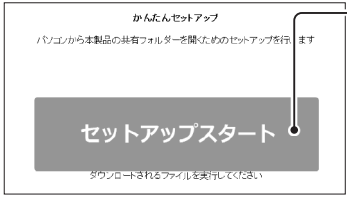
② 記憶域の [landisk-xxxxxx] をダブルクリックする

※「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と表示された場合は、再度アイコンをダブルクリックしてください。

「記憶域」や [LANDISK-xxxxxx] が表示されない場合

弊社Webページ「サポートライブラリ」からLAN DISK コネクトをダウンロードしてインストールしてください。
インストール後は、【設定画面を開く】(12ページ) へお進みください。
https://www.iodata.jp/r/5160

3



［セットアップスタート］をクリックする
⇒LAN DISK コネクトのインストーラーをダウンロードします。
インストーラーを実行し、インストールします。

ユーザーアカウント制御が表示されたら



［はい］をクリックする

4 LAN DISK コネクトがインストールされました

⇒ エクスプローラーの「LAN DISK」が開かれます。

LAN DISK コネクトのインストールによる変化

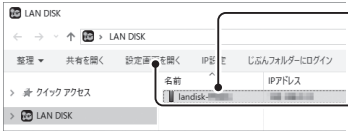
- デスクトップに［LAN DISK］のショートカットが作られます。
- エクスプローラーに「LAN DISK」項目が追加されています。

設定画面を開く

1 デスクトップ上の[LAN DISK] をダブルクリックする

⇒ LAN DISKコネクトが起動します。

2



① 設定画面を開くLAN DISKを選ぶ

② [設定画面を開く] をクリックする
⇒ 設定画面が開きます

はじめて設定画面を開いた時は、管理者のパスワードを設定します。
次は、【初回設定をする②(共通)】(15ページ) をご覧ください。

アプリを使わずに設定画面を開く

本製品がIPアドレスを取得できなかった場合、設定画面は「http://192.168.0.200」で開くことができます。
※ この場合、パソコンのIPアドレスを192.168.0.xxxなど同じセグメントに設定してください。

次回以降に設定画面を開く

Webブラウザーでお気に入り (ブックマーク) に登録することをおすすめします。

初回設定をする①(macOS)

設定画面を開くためのアプリ「Magical Finder」をインストールし、設定画面を開きます。

アプリをインストールする……13
設定画面を開くためのアプリ「Magical Finder」をインストールします。

設定画面を開く……14
Magical Finderを使って本製品の設定画面を開きます。

アプリをインストールする

設定画面を開くためのアプリ「Magical Finder」をインストールします。
下のWebページにアクセスし、インストールしてください。
http://www.iodata.jp/lib/product/m/3022.htm

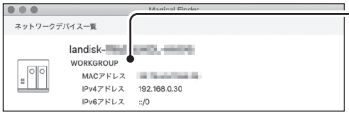
Magical Finderでできること

- 弊社製品の設定画面を開ける
- 弊社製品のIPアドレスなどを確認・設定できる

設定画面を開く

1 Magical Finderを起動する

2



[landisk-xxxxxx] をクリックする

3



[Web設定画面を開く] をクリックする

はじめて設定画面を開いた時は、管理者のパスワードを設定します。
次は、**【初回設定をする②(共通)】**(15ページ) をご覧ください。

アプリを使わずに設定画面を開く

本製品がIPアドレスを取得できなかった場合、設定画面は「http://192.168.0.200」で開くことができます。
※ この場合、パソコンのIPアドレスを192.168.0.xxxなど同じセグメントに設定してください。

次回以降に設定画面を開く

Webブラウザーでお気に入り(ブックマーク) に登録することをおすすめします。

初回設定をする②(共通)

管理者パスワードを設定する……16
はじめて設定画面を開いた時は、管理者のパスワードを設定します。

「NarSuS」に登録する……18
製品の状態を管理できるクラウド管理機能「NarSuS（ナーサス）」に本製品を登録します。

ウイルス対策機能を有効化する……21
インストール済みのトレンドマイクロ社のNAS向けウイルス対策ソリューション「Trend Micro NAS Security」を有効化します。

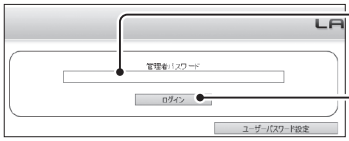
管理者パスワードを設定する

はじめて設定画面を開いた時は、管理者のパスワードを設定します。

管理者とは

本製品に関する色々な設定ができます。
(設定画面を開くには、管理者パスワードが必要です)

1

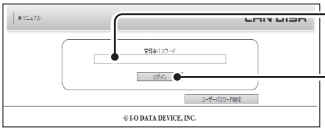


① 何も入力しない

② [ログイン] をクリックする

次回以降に設定画面を開く場合

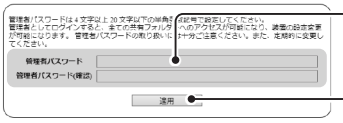
ここで設定した管理者パスワードを入力してください。



① 管理者パスワードを入力する

② [ログイン] をクリックする

2



① 2つの欄に同じ管理者パスワードを入力する

② [適用]をクリックする
⇒管理者パスワードを設定します。

3



初期設定が表示されたら、［初期設定を保持する］をクリックする
⇒ 初期設定は閉じます。
※ 各タブの設定は、基本的に変更しなくても利用できます。

各タブの設定内容

名前	本製品の名前、説明、設置場所を設定できます。
ネットワーク	本製品のIPアドレス設定ができます。（IPv4のみ）
Microsoft ネットワーク	本製品が参加するネットワークを設定できます。
時刻	本製品の時刻設定ができます。
内蔵ボリューム	本製品のRAID モードの変更や暗号化の設定ができます。
省電力	本製品の省電力設定ができます。
電源スケジュール	本製品の起動時刻、終了時刻のスケジュール設定ができます。

次に、NarSuS登録画面が表示されます。
【「NarSuS」に登録する】（18ページ）をご覧ください。

「NarSuS」に登録する

NarSuSに登録すると、有償修理時の料金を20%引きいたします。
※所定の修理依頼書が必要です。詳細は【修理について】(56ページ)をご確認ください。

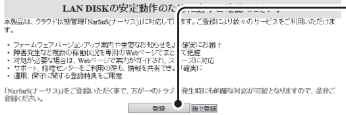
NarSuS(ナーサス)とは?

製品の状態を管理できるクラウド管理機能です。
お客様に代わってNarSuSデータセンターが製品の状態を把握し、万が一の障害をいち早く察知し通知します。
https://www.iodata.jp/ssp/nas/biznas/narsus.htm

ご利用環境

- 本製品がインターネットに接続している必要があります。
  ※インターネット接続できない環境でも、NarSuS登録は可能です。登録によりファームウェア更新のご案内などを受け取れます。
- httpsで通信するため、ポート443の解放が必要です。
- NarSuSは、IPv4ネットワークでのみ使えます。

1



左の画面が表示されたら、[登録]をクリックする

本製品をインターネットに接続できない場合

この後の手順が異なります。
【インターネットに接続できない場合の登録】(20ページ)をご覧ください。

2



[NarSuSを利用]をクリックする

プロキシサーバーの設定

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、この画面で設定できます。

3



NarSuSの登録状況に応じてどちらかをクリックする

4 画面の指示に従って、必要事項を入力し、登録する

設定・登録に失敗した

以下を確認してください。

- パソコンはインターネットにつながっているか
- 本製品のネットワーク設定は正しいか
- プロキシサーバーの設定が必要な場合、設定は正しいか

上記を確認しても失敗する場合は、ルーターやファイアーウォールなどでポート443がブロックされている可能性があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

5 登録が完了したら、Webブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。
次に、【ウイルス対策機能を有効化する】(21ページ)へお進みください。

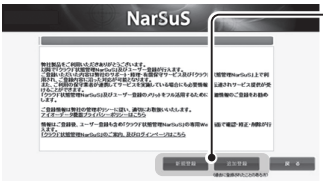
NarSuSで本製品の状態を確認する

① NarSuSにアクセスして、ログインする
https://www.narsus.jp/
② NarSuSで本製品の状態を確認する
※ 詳しくは、NarSuS上のヘルプをご覧ください。

インターネットに接続できない場合の登録

① インターネットに接続できるパソコンなどから、Webブラウザーで以下のURLにアクセスする
https://www.narsus.jp/user-reg

②



NarSuSの登録状況に応じてどちらかをクリックする

③ 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

④



利用コードが表示されたら、メモする
※ 送付されるメールにも記載されています。

【ここから、本製品の設定画面を操作します】

⑤



本製品のNarSuS登録画面で[ユーザー登録のみ]をクリックする

※ [ユーザー登録のみ]がなく[登録]がある場合は、それをクリックします。

⑥



メモした利用コードを入力する

[保存]をクリックする
⇒ これでNarSuS登録は完了です。

ウイルス対策機能を有効化する

本製品には、トレンドマイクロ社のNAS向けウイルス対策ソリューション「Trend Micro NAS Security」のライセンスが付いています。
添付の『Trend Micro NAS Security はじめにお読みください』をご覧になり、利用可能にしてください(アクティベート)

※パッケージ「Trend Micro NAS Security」は追加済みです。アクティベート操作だけおこなってください。

※有効化した後のライセンスの有効期間は、設定画面の[ウイルス対策] → [TMNAS] で開く画面の[管理] →[製品ライセンス] にシリアル番号と一緒に記載されます。
有効期間を延長する場合は、「LDOP-LS/TML1」をご購入ください。

※使用方法については、「詳細ガイド」(3ページ) をご覧ください。

パソコンからアクセスする

本製品にアクセスするための設定と、アクセス方法についてご説明します。

アクセス用ユーザーを作る……23
本製品にアクセスするためのユーザーを追加します。

アクセス権限を設定する……24
通常使用のための共有フォルダー「disk1」にアクセスできるユーザーを設定します。

アクセスする……25
パソコンから「disk1」にアクセスします。

アクセス用ユーザーを作る

1 設定画面を開く

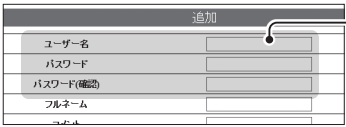
- Windows での開き方.....【設定画面を開く】(12ページ)
- macOS での開き方.....【設定画面を開く】(14ページ)

2



[ユーザー&グループ] → [ユーザー] →[追加] をクリックする

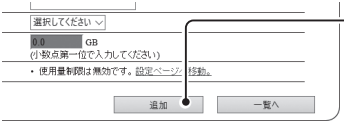
3



「ユーザー名」と「パスワード」「パスワード(確認)」を入力する

※ ユーザー名/パスワードともに、1 ～ 20文字(半角英数記号)

4



[追加] をクリックする

⇒これで、アクセス用のユーザーを作りました。

アクセス権限を設定する

1 設定画面を開く

- Windows での開き方.....【設定画面を開く】（12ページ）
- macOS での開き方.....【設定画面を開く】（14ページ）

2



[共有] →[フォルダー] →[一覧] をクリックする

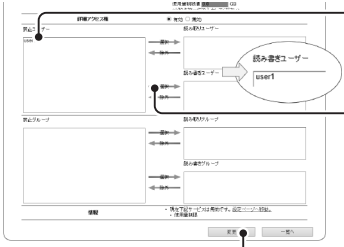
3



disk1 の [変更] をクリックする

※ disk1 は、ご購入時に設定済みの通常使用のための共有フォルダーです。

4



① 「禁止ユーザー」内の、前ページで作ったユーザーをクリックする

② 「読み書きユーザー」左の [選択] をクリックする
⇒ ユーザーが [読み書きユーザー] に移ります。
※ その他の設定は不要です。

③ [変更] をクリックする

特定ユーザーだけの共有フォルダーを作る

設定画面の [共有] →[フォルダー] →[追加] を開きます。
名前を任意で付け、「詳細アクセス権」を [有効] にした後は上記を参考に設定してください。

アクセスする

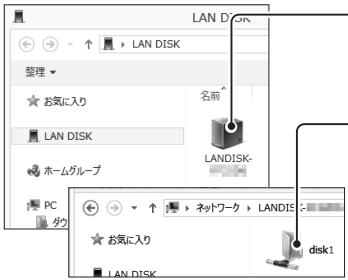
▶ Windows でのアクセス方法 …… 25
▶ macOS でのアクセス方法 …… 26

▼ Windows でのアクセス方法

1 デスクトップ上の[LAN DISK] をダブルクリックする

⇒ LAN DISK コネクトが起動します。

2



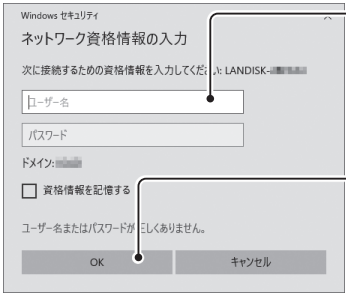
[landisk-xxxxxx] が表示されない場合

【LAN DISK コネクトで本製品が表示されない】（48ページ）をご覧ください。

「LAN DISK Log」や「usbx」には通常アクセスしません

「disk1」以外にも「LAN DISK Log」や「usbx」（xはUSBポートの番号）といった共有フォルダーがご購入時に設定されています。
これらには通常アクセスする必要はありません。
※ 管理者はアクセスすることができます。
（ユーザー名：admin、パスワード：管理者パスワード）

3



③【アクセス用ユーザーを作る】(23ページ)で登録したユーザー名とパスワードを入力する

④［OK］をクリックする
⇒これで、データを読み書きできます。

▼ macOSでのアクセス方法

1 Finderを起動する

2



① ［landisk-xxxxxx］をクリックする
※ (smb)が付いている場合、そちらを選びます。

② ［別名で接続］をクリックする

［landisk-xxxxxx］が表示されない場合

本製品のPOWERランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。
POWERランプが点灯中にも関わらず［landisk-xxxxxx］が表示されない場合は、［移動］メニュー→［サーバへ接続］を開いてください。
サーバアドレス：「smb://<IPアドレス>」※と入力
ユーザの種類：［ゲスト］
マウントするボリューム：［disk1］
※「smb://192.168.0.200」などと入力してください。IPアドレスはMagical Finderで確認できます(14ページ参照)。

3



① [登録ユーザ] を選ぶ

② 名前、パスワードを入力する

③ [接続] をクリックする

名前(ユーザー名)、パスワード

【アクセス用ユーザーを作る】(23ページ) で登録したユーザー名とパスワードを入力してください。

4



[disk1] をダブルクリックする

⇒これで、データを読み書きできます。

「LAN DISK Log」や「usbx」には通常アクセスしません

「disk1」以外にも「LAN DISK Log」や「usbx」(xはUSBポートの番号) といった共有フォルダーがご購入時に設定されています。
これらには通常アクセスする必要はありません。
※ 管理者はアクセスすることができます。
(ユーザー名：admin、パスワード：管理者パスワード)

データを守る

USB HDDにバックアップする……29
別売のUSB HDDを本製品に増設し、履歴差分バックアップします。

ゴミ箱機能を使う……34
ゴミ箱機能を使うと、ファイルを削除してもすぐにファイルが
なくならず、いったん[trashbox] フォルダーに保管されます。

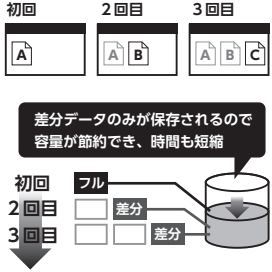
USB HDDにバックアップする

同じデータを2 か所に保存することで、万一の故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えます。
不測の事態に備えるために、バックアップしておくことをおすすめします。

ここでは、別売のUSB HDDを本製品に増設し、履歴差分バックアップします。

履歴差分バックアップとは

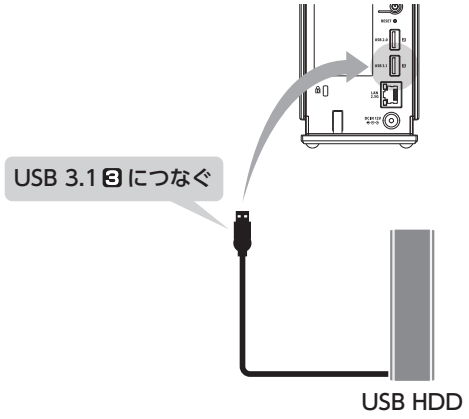
バックアップした時点でのファイルやフォルダーの構造が日付ごとに丸ごと残ります。
ファイルを間違って消したり更新してしまった場合に、日付を指定して復元することができます。
それぞれのバックアップで実際に使う容量は、前回バックアップの差分だけなので、毎回全てをバックアップするのに比べて少なくなります。



▶USB HDDをつなぐ……30
▶専用フォーマットする……31
▶バックアップの設定をする……32

▼ USB HDDをつなぐ

※ USB HDDは専用形式でフォーマットします。内部のデータはすべて削除されます。



対応USB HDD

以下の弊社Webページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm

▼専用フォーマットする

1 設定画面を開く

- Windowsでの開き方.....【設定画面を開く】(12ページ)
- macOSでの開き方.....【設定画面を開く】(14ページ)

2



[ボリューム]→[USB x]→[フォーマット]をクリックする

※ [USB3]がUSB 3.1 Gen 1(USB 3.0)ポートです。

3



① [専用フォーマット]を選ぶ

② [実行]をクリックする
⇒USB HDDのフォーマットが始まります。

フォーマットの開始/終了時は、共有へアクセスできません

本製品へのアクセスがないことを確認してから実行してください。

4 POWERランプが点灯し、ピッピッピッと鳴る

⇒ フォーマット完了です。

フォーマット時間の目安

- ●USB 2.0の場合：約2時間30分（弊社RHD4-UX12TRW(RAID 0)）
- ●USB 3.1 Gen 1(USB 3.0)の場合：
  約30分（弊社HDS2-UT6.0(RAID 0)）
  約10分（弊社HDJA-UT8W/LD）

▼ バックアップの設定をする

ここでは、すべての共有フォルダーをUSB HDDへバックアップする設定例をご案内します。

1 設定画面を開く

- Windowsでの開き方.....【設定画面を開く】（12ページ）
- macOSでの開き方.....【設定画面を開く】（14ページ）

2



[データバックアップ] → [バックアップ] をクリックする

3



[追加] をクリックする

4



「ジョブ名」を任意に入力する

5



「履歴数」を設定する

※ この回数分のバックアップを保持します。

6



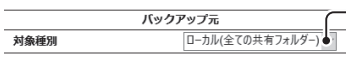
① 「スケジュール設定」を有効にする

② バックアップする曜日と時刻を設定する

オプション、除外ファイルなどについて

詳しくは詳細ガイドをご覧ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-aaxw/#redirect_bkup

7



「バックアップ元」の「対象種別」を［ローカル(全ての共有フォルダー)］に設定する

8



※［USB3］がUSB 3.1 Gen 1(USB 3.0)ポートです。

① 「バックアップ先」の「対象種別」を［ローカル］に設定する

② 「共有フォルダー」を［usbx］に設定する

9



［保存］をクリックする
⇒今後、設定したスケジュールでバックアップを開始します。

バックアップが成功したかどうかの確認方法

［データバックアップ］→［バックアップ］をクリックし、バックアップジョブのステータスをご覧ください。
「完了(成功)」となっていれば、成功しています。

ゴミ箱機能を使う

本製品上のファイルを削除すると、OSのゴミ箱などに入らずにそのまま消えてしまいます。
ゴミ箱機能を使うと、ファイルを削除してもすぐにファイルがなくならず、いったん[trashbox] フォルダーに保管されます。

ご注意

- Windowsファイル共有(SMB) で削除した場合にだけ[trashbox] フォルダーに保管されます。Remote Link Filesなどで削除した場合は保管されずに削除されます。
- [trashbox] フォルダー内のファイルは、自動的に消去されません。定期的に[trashbox] フォルダー内のファイルを削除してください。
- ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成→削除を繰り返すものがあります。結果、[trashbox] フォルダー内のファイルが大幅に増えることがあります。
- ゴミ箱機能を無効にした場合には、[trashbox] フォルダーは削除され、[trashbox] 内のファイルは完全に消去されます。

▶ゴミ箱機能を有効にする 35
▶ゴミ箱からファイルを取り戻す 36
▶ゴミ箱を空にする 36

▼ ゴミ箱機能を有効にする

手順例では、共有フォルダー「disk1」のゴミ箱機能を有効にします。

1 設定画面を開く

- Windows での開き方.....【設定画面を開く】(12ページ)
- macOS での開き方.....【設定画面を開く】(14ページ)

2



[共有] →[フォルダー] →[一覧] をクリックする

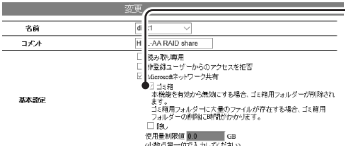
3



disk1の[変更] をクリックする

※ disk1は、ご購入時に設定済みの通常使用のための共有フォルダーです。

4



[ゴミ箱] にチェックを入れる

5



[変更] をクリックする

⇒ disk1のゴミ箱機能が有効になりました。

▼ ゴミ箱からファイルを取り戻す

1 本製品にアクセスする

(Windows：25ページ、macOS：26ページ)

2 disk1などの共有フォルダーの中の[trashbox] フォルダーを開く

⇒ 削除したファイルが表示されます。

3 必要なファイルを元の共有フォルダーに移動(またはコピー) する

▼ ゴミ箱を空にする

1 設定画面を開く

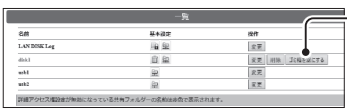
- Windowsでの開き方.....【設定画面を開く】(12ページ)
- macOSでの開き方.....【設定画面を開く】(14ページ)

2



[共有] →[フォルダー] →[一覧] をクリックする

3



disk1の[ゴミ箱を空にする] をクリックする

⇒ disk1のゴミ箱が空になります。

便利な使い方

本製品の便利な使い方についてご紹介します。
詳しい方法は詳細ガイドをご覧ください。

▶機能を追加する(パッケージ)……37
▶RAIDモードを変更する……38
▶スマホからアクセスする……39

機能を追加する(パッケージ)

[システム] → [パッケージ管理] → [追加] をクリックして、さらに機能を追加することができます。



パッケージ名	機能
AppleShare	AppleShareネットワーク共有としてアクセス
メディアサーバー	本製品内のコンテンツをテレビなどで楽しむ アップグレードでテレビ番組録画にも対応
Remote Link 3	外出先からインターネットを介してアクセス
FTP	FTPクライアントからアクセス
クラウドストレージ連携	以下のクラウドストレージと同期 Amazon S3 ／ Microsoft Azure ／ Box ／ Cloud^{n} ／ Dropbox ／ Microsoft OneDrive ／ Microsoft OneDrive for Business
フレッツ・あずけ〜る連携	「フレッツ・あずけ〜る」「フレッツ・あずけ〜る PRO」と連携

パッケージ名	機能
レプリケーション	メイン機と予備機の共有フォルダーを同期し、同じ状態に保つ
クローン	マスター機の設定やファイルをスレーブ機に保存
Trend Micro NAS Security	トレンドマイクロ社のNAS 向けアンチウイルス機能を提供
H/XR/XV 移行	弊社製HDL-H、X、AA、XR、XVの各シリーズから本製品にデータや設定を移行

※ 2020年1月現在

RAIDモードを変更する

本製品は基本的に拡張ボリュームのままでお使いいただくものですが、［ボリューム］→［内蔵］→［フォーマット］をクリックして、RAID 0やRAID 1に変更することもできます。

※ 本製品内のデータはすべて削除されます。本製品内にデータが保存されている場合は変更前にバックアップしてください。



変更できるRAIDモード	RAID再構築完了までの時間（6TBモデルの場合）
拡張ボリューム	約2分
RAID 1	約6時間30分
RAID 0	約2分

※ 再構築完了までの時間は容量に比例します。

※ 内蔵ドライブを暗号化していた場合や、再構築中に設定変更やファイル操作をおこなった場合は、上記以上の時間を必要とします。

スマホからアクセスする

パッケージ「Remote Link 3」を追加・設定することで、
スマホアプリ「Remote Link Files」を使って本製品に
アクセスできます。

1 パッケージ「Remote Link 3」を追加する(37ページ)

2 リモートアクセス(Remote Link 3) を有効にする



3 設定用QRコードを表示する(スマホアプリ読み取り用)



4 スマホを設定する

① App StoreやPlayストアから「Remote Link Files」をインストールする
② Remote Link Filesを開く
③ [接続機器を登録する] か[+] をタップし、先に表示したQRコードを読み取る
④ 本製品のユーザーとパスワードを入力する
※【アクセス用ユーザーを作る】(23ページ)

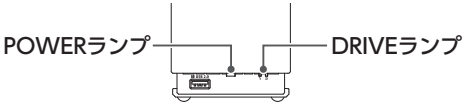
5 スマホからアクセスする

⑤ Remote Link Filesを開く
⑥ HDL-AAXWをタップする
⑦ disk1をタップして開く

ランプとブザーへの対処

ランプとブザーの状況を組み合わせて、状態と対処を確認します。
まずは、POWERランプの状況から絞り込んでいきます。

▶ POWERランプは消灯している……41
▶ POWERランプは緑点滅している……41
▶ POWERランプは緑点灯している……41
▶ POWERランプは赤点灯している……42
▶ POWERランプは赤点滅している……43



鳴り続いているブザーを止める方法

POWERボタンを軽く押してください。
※ POWERボタンを押し続けると電源が切れます。ご注意ください。

▼ POWERランプは消灯している

本製品の電源が入っていません。
ACアダプターを確認の上、本製品を起動してください(8ページ)。

▼ POWERランプは緑点滅している

起動中やシャットダウン中、システム処理中 (設定反映中、ファームウェア更新中など) です。
点灯(シャットダウンの場合は消灯) するまでお待ちください。

▼ POWERランプは緑点灯している

正常に動作しています。

ブザー音	状態と対処
なし	正常な状態
ピッ	● 正常に起動した ● USB HDDを取り付け、正常に認識した ● 各種設定を反映した ● クイックコピー / ボリューム設定変更などに成功した
ピッ×3	フォーマット/チェックディスク/バックアップ/クイックコピーに成功した
ピー×3	設定変更に失敗した ⇒ 設定画面に入力した内容をご確認ください。 問題ない場合は、しばらく待ってから再度試してください。
ドミソド×3	内蔵ドライブの交換後、ボリュームの再構築に成功した

▼ POWERランプは赤点灯している

お知らせする内容があります。

ブザー音	状態と対処
なし	お知らせがある ⇒ 設定画面を開き(12、14ページ)、画面左上の「通知」または[情報・ログ表示]→[お知らせ]をご確認ください。
ピー× 3	● 初回起動時 【初回起動時、POWERランプが赤点灯し、ピーピーピーと鳴った】(47ページ)をご覧ください。 ● 起動時 LANケーブルをつなぎ直し、再起動してください。 また、ルーターの異常も考えられます。 同一ネットワーク上のパソコンなどでインターネット接続などに問題ないかご確認ください。 ● 内蔵ドライブやUSB HDDを取付時 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたドライブが故障、容量不足、非対応フォーマットです。 ● クイックコピー時 コピーできなかった ⇒ [情報・ログ表示]→[システムログ]をご確認ください。 つないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 ● 設定変更時 設定変更に失敗した ⇒ [情報・ログ表示]→[システムログ]をご確認ください。

▼ POWERランプは赤点滅している

重大なエラーが発生しています。
データにアクセスできる場合は、万が一のためにデータのバックアップをお取りください。

ブザー音	状態と対処
なし	何らかの警告がある ⇒ 設定画面を開き(12、14ページ)、[情報・ログ表示] →[お知らせ] または[システムログ] をご確認ください。
ドレミ (鳴り続く)	(UPS警告が有効時) UPSがつながっていない または 停電状態
ピピッピピッ (鳴り続く)	(使用量警告が有効時) 使用量制限値に達した ⇒ 設定画面を開き(12、14ページ)、画面左上の「通知」または[情報・ログ表示] →[お知らせ] をご確認ください。
ピッピッ (鳴り続く)	● HDDランプの片側が赤点滅または消灯 赤点滅/消灯している側の内蔵ドライブが故障している ⇒ データのバックアップを取り、赤点滅/消灯している側の内蔵ドライブを交換してください(44ページ)。 ● HDDランプの両方が緑点灯 USB HDDとミラーリング設定しており、そのUSB HDDが故障または未接続になっている ⇒ USB HDDの状態をご確認ください。
ピーポー (鳴り続く)	RAID崩壊した(RAID 1またはRAID 0に設定時) HDDランプが赤点滅/消灯している側の内蔵ドライブが故障している ※ 赤点灯している内蔵ドライブは正常です。 ⇒ RAID崩壊への対処については、右のQRコードから詳細ガイドをご覧ください。
ピーピー (鳴り続く)	起動不可状態 ⇒ 内蔵ドライブの異常かシステム異常が発生しています。 修理センターに送付してください(56ページ)。

内蔵ドライブの交換方法

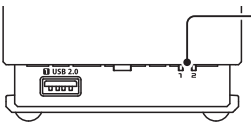
交換用ドライブ

以下の弊社Webページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm
※ 交換用ドライブ以外をご利用の場合はサポート対象外となります。

内蔵ドライブ交換時のご注意

- 内蔵ドライブは、故障時以外には取り外さないでください。
  不用意に取り外すと冗長性が失われたり、すべてのデータを失う危険があります。
  拡張ボリュームで容量を増やす方法は、詳細ガイドをご覧ください。
- 内蔵ドライブの交換は、必ず説明通りに1台ずつしてください。
- 金具などで手を切るなどのケガをしないようにご注意ください。
- 一度使ったことがある交換用ドライブを交換に使わないでください。
  残ったデータを上書きされてしまい、データ損失のおそれがあります。
- データにアクセスできる場合、交換前にデータのバックアップを取ってください。

1

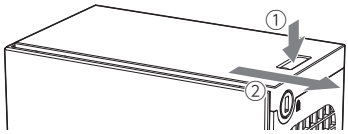


HDDランプを確認する
※ 消　灯：交換が必要
　赤点滅：交換が必要
　緑点灯：交換不要

2 本製品の電源を切り、十分に冷めるまで待つ

安全のため、ACアダプターとLANケーブルを取り外します。
※【電源を切る方法】（8ページ）

3

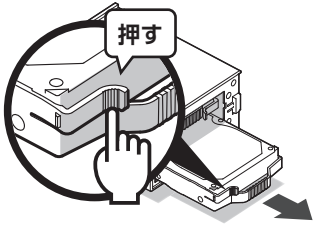


本製品のフタを外す

4 交換する内蔵ドライブが下になるように、本製品を横に寝かせる

※ 内蔵ドライブのハンドルに、ドライブの番号を示すシールが貼られています。

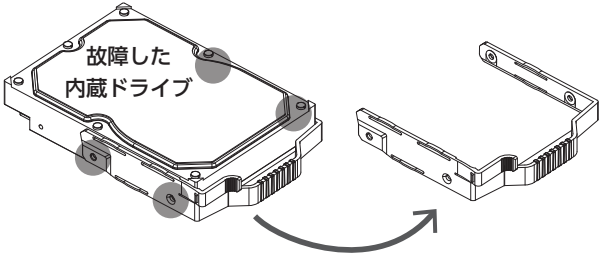
5



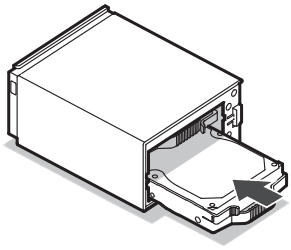
固定解除用のレバーを押しながら、交換する内蔵ドライブを静かに引き抜く

6 用意した交換用ドライブにハンドルを付け替える

ハンドルを取り外すには、ネジを4か所外します。



7

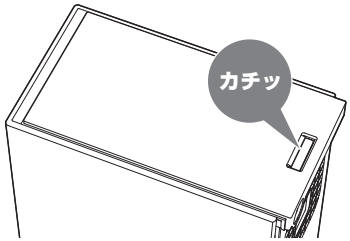


ハンドルを付けた交換用ドライブを差し込む

※ 正しく差し込むとカチッと音がします。

※ 取り付けには向きがあります。取り付けられない場合は向きを変えてください。

8



本製品をそっと起こし、本製品のフタを閉じる

9 取り外したACアダプターとLANケーブルをつなぎ直す

10 本製品の電源を入れる

※【電源を入れる】（8ページ）参照

11 交換用HDDが認識されたら、自動で再構築が開始されます。

※ 再構築中はデータへのアクセスが可能ですが、通常より動作が遅くなります。

再構築完了を確認する方法

- 再構築を完了すると、ブザーが「ドミソド」と3回鳴ります。
- 設定画面を開き、右上に表示される「RAIDの状態」が「正常動作」になっていれば、再構築は完了しています。

困ったときには

よくあるお問い合わせ

よくあるお問合わせをまとめました。
こちらもご確認ください。
https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdlaa/

初回起動時、POWERランプが赤点灯し、ピーピーピーと鳴った

ルーターからIPアドレスを取得できていないか、インターネットに接続できていません。
LANケーブルをつなぎ直し、本製品を再起動してください。
⇒【電源を切る方法】（8ページ）参照
それでも解決しない場合は、下の弊社Webページをご覧ください。
https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s20113.htm

管理者パスワードを忘れた・IPアドレスなどを初期化したい

ピンなどの先の細いもので RESET ボタンを4秒間押し続けてください。
POWERランプは初期化中に点滅、初期化終了で点灯します。

以下の設定がご購入時の状態に戻ります

・IPアドレス（DHCP有効）　・管理者パスワード　・フレームサイズ

LAN DISKコネクトで本製品が表示されない

本製品のPOWERランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。
その後、再度LAN DISKコネクトを開き、表示されるかご確認ください。
POWERランプが点灯中にも関わらず［landisk-xxxxxx］が表示されない場合は、以下の弊社Webページをご覧ください。
https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s20119.htm

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼危険・警告・注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

⚠ 警告

本製品を修理・改造・分解しない
発火や感電、やけど、故障の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品やACアダプターに触れない
発火や感電、やけど、故障の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

本製品内に異物（液体・金属等）を入れない
コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が本製品内部に入らないようにしてください。
特に、天面コネクターに異物を差し込まないでください。
感電や発火の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてからおこなう
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に置かないでください。
- 万一、本製品がぬれた場合は、絶対に使わないでください。

▼電源(ACアダプター・コード・プラグ)について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱の恐れがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)
定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(1500Wなどの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のご注意

【重要】定期的にバックアップしてください

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。
本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

※ バックアップとは
本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD、BD/DVD など)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2 か所にあることを「バックアップ」と言います。)万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。変質やひび割れなどの原因になります。

【重要】譲渡・廃棄の際のご注意

● 情報漏洩などのトラブルを回避するために、システム初期化時の内蔵ドライブ完全消去等を利用し、データを完全消去してください。
※ HDD上のソフトウェアについて
HDD上のソフトウェアを削除することなくHDDを譲渡すると、著作権法に抵触する場合があります。
● NarSuSに登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
● 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【重要】最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。
※ インターネットにつないでいると、自動的に最新版を入手する機能があります。

本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置してインターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

▶ https://www.iodata.jp/support/

① 「Q&A よくあるご質問」を参照

② 最新のソフトウェアをダウンロード

2 それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話 ▶ **050-3116-3025**

受付時間 9：00～17：00 月～金曜日

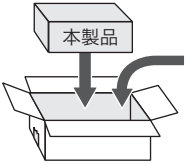
（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）

メール ▶ **https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm**

修理について

保証期間 **5**年間

以下を梱包し、修理センターへお送りください



レシート、納品書など
購入日を示すもの

＋

メモ
・名前 ・住所
・ TEL / FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

※厳重に梱包してください。
　弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。



【液晶ディスプレイ】パネル部分を持つと、パネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号（S/N）はお手元に控えておいてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください（修理依頼書はここから印刷できます）。

▶ https://www.iodata.jp/support/after/

※ NarSuS 登録している場合は、NarSuSの修理依頼書を添付してください。
有償修理時の料金を20%引きいたします。（詳細はNarSuSヘルプをご確認ください）

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より 5年間 無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
2) 中古品でご購入された場合
3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

Memo

Memo

Memo

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 私的使用のための複製など著作権法上認められた場合を除き、本製品を使用して作成した画像、音声等を、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【ユーザー登録はこちら】･･･https://ioportal.iodata.jp/

ユーザー登録にはシリアル番号(S/N) が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号(S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
(例：ABC1234567ZX)

【使用ソフトウェアについて】

・本製品には、GNU General Public License Version3 (GPLv3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。変更済みGPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWeb ページをご確認ください。
http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。
・本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit(http://www.openssl.org) での使用のために開発したソフトウェアが含まれています。
本製品にはEric Young(eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
本製品にはTim Hudson(tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器
ホームページ　http://www.iodata.jp/

I-O DATA

MANU001252